

〔様式2〕令和7年度 羽村市立栄小学校 学校経営計画（学校評価計画表） 学校教育目標 ◎よく考えて学ぶ子 ○明るくしょうぶな子 ○助け合って働く子

【目指す学校像】○子供一人一人がよさや可能性を發揮し、未来を切り拓くための力を身に着ける学校 ○保護者・地域の方から信頼される学校 ○「チーム」としての力を生かし、主体的に課題を解決する学校

【目指す児童像】○自分たちの学習や生活等をよりよくするよう課題をもち、その課題解決のための方法を自分なりに工夫し、最後まで根気強くやり抜く子供
○体力向上を目指すとともに、心身ともに健康でたくましく、爽やかな挨拶と元気な返事ができる子供
○一人一人の意見を尊重し、みんなと協力しながら奉仕する心をもって自らすすんで働く子供

【目指す教師像】○挑戦…変化を前向きに受け止め、目標に向かって挑戦する教職員 ○相手意識をもって深い信頼関係を築く教職員 ○連携・協働して、チームに貢献する教職員

前年度までの学校経営上の成果と課題【成果】・主体的・対話的で深い学びとウェルビーイングの向上を目指した授業改善 ・縦割り班活動「なかよし班活動」の実施と充実 ・運動の日常化を図る取組の推進 ・英語教育への取組
(簡条書きで簡潔に) 【課題】・特別支援教育の推進 ・いじめ防止対策の推進 ・一人一台端末の活用 ・地域の教育資源や外部人材等のさらなる活用 ・英語教育のさらなる充実

3つの施策	中期経営目標(施策の内容)	短期経営目標(今年度の取組)	具体的方策	「取組・努力」の評価基準(学校・教職員の姿勢、取組状況)	評定	評価方法	「成果」の評価基準(児童・生徒の変容)	評定	評価方法							
小中一貫教育を柱とした特色ある教育の推進	①小中一貫教育の推進	家庭学習の充実	家庭学習週等の実施 授業と家庭学習を連携させ、家庭学習ノートや家庭学習の定着と学力向上を図る。家庭学習ノートや家庭学習記録表を活用するなどして、家庭学習週間を年2回実施し、家庭と連携することを通して、児童に学習習慣を身に付けさせる。	「家庭学習の充実に向けて取り組むことができた」の肯定的な回答が80%以上である。 「家庭学習の充実に向けて取り組むことができた」の肯定的な回答が70%以上である。 「家庭学習の充実に向けて取り組むことができた」の肯定的な回答が60%以上である。 「家庭学習の充実に向けて取り組むことができた」の肯定的な回答が60%未満である。	4 3 2 1	教員アンケート	「家庭学習がだんだんと取り組めるようになっていく」の肯定的な回答が80%以上である。 「家庭学習がだんだんと取り組めるようになっていく」の肯定的な回答が70%以上である。 「家庭学習がだんだんと取り組めるようになっていく」の肯定的な回答が60%以上である。 「家庭学習がだんだんと取り組めるようになっていく」の肯定的な回答が60%未満である。	4 3 2 1	児童アンケート							
			分かる、楽しい、学ぶ喜びがある授業(言語能力の向上も含む)	「はむらの授業指針」に基づく授業づくり 単元を通して、子供の三つの学びの姿(主体的学びの姿・対話的学びの姿・深い学びの姿)が見られる活動の工夫、授業の中で児童が自ら考える時間を確保する。 言語活動を取り入れた授業づくり 児童が自分の考えや感想をもつことができるようにするために、グループ活動も積極的に取り入れ、話し合い活動を実施したり、一人一台端末を活用したりして、知識を活用・発揮する場を工夫し、授業を実施する。	「分かる、楽しい、学ぶ喜びのある授業の実現を目指し授業改善ができた」の肯定的な回答が80%以上である。 「分かる、楽しい、学ぶ喜びのある授業の実現を目指し授業改善ができた」の肯定的な回答が70%以上である。 「分かる、楽しい、学ぶ喜びのある授業の実現を目指し授業改善ができた」の肯定的な回答が60%以上である。 「分かる、楽しい、学ぶ喜びのある授業の実現を目指し授業改善ができた」の肯定的な回答が60%未満である。		4 3 2 1	教員アンケート		「授業は、分かり、楽しいと思う」の肯定的な回答が80%以上である。 「授業は、分かり、楽しいと思う」の肯定的な回答が70%以上である。 「授業は、分かり、楽しいと思う」の肯定的な回答が60%以上である。 「授業は、分かり、楽しいと思う」の肯定的な回答が60%未満である。	4 3 2 1	児童アンケート				
	③特色ある教育の推進	学校生活を楽しく豊かにする異学年交流の充実	縦割り班活動「なかよし班活動」の実施 「なかよし班活動」「なかよし班花植え(花いっぱい運動)」等の縦割り班活動において、児童に「人と関わりたい」という意欲をもたせ、児童の工夫や努力を認める指導等を行う。豊かな体験と学びの機会を設定し、様々な活動を通して、児童の自尊感情の醸成を図る。	「児童に【やればできる・伸びている・役立っている】と感じさせる声掛けや指導ができた」の肯定的な回答が80%以上である。 「児童に【やればできる・伸びている・役立っている】と感じさせる声掛けや指導ができた」の肯定的な回答が70%以上である。 「児童に【やればできる・伸びている・役立っている】と感じさせる声掛けや指導ができた」の肯定的な回答が60%以上である。 「児童に【やればできる・伸びている・役立っている】と感じさせる声掛けや指導ができた」の肯定的な回答が60%未満である。	4 3 2 1	教員アンケート	「なかよし班活動などで、楽しく積極的に活動できた」の肯定的な回答が80%以上である。 「なかよし班活動などで、楽しく積極的に活動できた」の肯定的な回答が70%以上である。 「なかよし班活動などで、楽しく積極的に活動できた」の肯定的な回答が60%以上である。 「なかよし班活動などで、楽しく積極的に活動できた」の肯定的な回答が60%未満である。		4 3 2 1	児童アンケート						
			④新しい課題に対応した教育の推進	日常的に運動することを楽しむ児童の育成	運動の日常化を図る取組の推進(体力向上) 体育の授業を工夫して行うとともに、運動会、持久走、縄跳び週間・大会の実施、「遊ぼうデー」や休み時間等の外遊びを奨励することを通して、日常的に運動することを楽しむ児童を育成する。また地域の踊り等の学びを実施し、生涯を通じた運動の日常化に向けた基礎を培う。		「児童が運動することを楽しむために、体育の授業や体育的行事、休み時間等の外遊びの奨励を実施できた」の肯定的な回答が80%以上である。 「児童が運動することを楽しむために、体育の授業や体育的行事、休み時間等の外遊びの奨励を実施できた」の肯定的な回答が70%以上である。 「児童が運動することを楽しむために、体育の授業や体育的行事、休み時間等の外遊びの奨励を実施できた」の肯定的な回答が60%以上である。 「児童が運動することを楽しむために、体育の授業や体育的行事、休み時間等の外遊びの奨励を実施できた」の肯定的な回答が60%未満である。	4 3 2 1	教員アンケート		「体育の授業、体育的行事、休み時間などの外遊びで、運動を楽しむことができた」の肯定的な回答が80%以上である。 「体育の授業、体育的行事、休み時間などの外遊びで、運動を楽しむことができた」の肯定的な回答が70%以上である。 「体育の授業、体育的行事、休み時間などの外遊びで、運動を楽しむことができた」の肯定的な回答が60%以上である。 「体育の授業、体育的行事、休み時間などの外遊びで、運動を楽しむことができた」の肯定的な回答が60%未満である。	4 3 2 1	児童アンケート			
					⑤人権教育の推進と道徳教育の充実		親切・思いやりの心の育成	親切な行為や思いやりの意義を考え、それぞれのよさを感じる指導 「はむらの道徳科授業指針」に基づく、授業づくりを実施するとともに、相手の立場を考慮したり、気持ちを思いやったりする機会を大切に、指導することを通して、親切な行為や思いやりの意義を考え、それぞれのよさを感じる指導を行う。			「親切な行為や思いやりの意義を考える、よさを感じるような指導ができた」の肯定的な回答が80%以上である。 「親切な行為や思いやりの意義を考える、よさを感じるような指導ができた」の肯定的な回答が70%以上である。 「親切な行為や思いやりの意義を考える、よさを感じるような指導ができた」の肯定的な回答が60%以上である。 「親切な行為や思いやりの意義を考える、よさを感じるような指導ができた」の肯定的な回答が60%未満である。	4 3 2 1		教員アンケート	「人に温かい心でかかわり、親切にすることができた」の肯定的な回答が80%以上である。 「人に温かい心でかかわり、親切にすることができた」の肯定的な回答が70%以上である。 「人に温かい心でかかわり、親切にすることができた」の肯定的な回答が60%以上である。 「人に温かい心でかかわり、親切にすることができた」の肯定的な回答が60%未満である。	4 3 2 1
⑥特別支援教育の推進	多様なニーズに応じた教育の推進	チーム栄小での個に応じた支援の充実 特別支援教室(知)が設置されている強みを生かし、SCやSSW、学習サポーターをはじめ、学校にかかわる様々な人と連携し、支援を必要とする児童の長所や強みを生かして個に応じた支援を充実させる。また、ユニバーサルデザインを推進する。	「チーム栄小で、連携して個に応じた支援ができた」の肯定的な評価が80%以上である。 「チーム栄小で、連携して個に応じた支援ができた」の肯定的な評価が70%以上である。 「チーム栄小で、連携して個に応じた支援ができた」の肯定的な評価が60%以上である。 「チーム栄小で、連携して個に応じた支援ができた」の肯定的な評価が60%未満である。	4 3 2 1		教員アンケート		「自分や友達の良いところ、頑張っていることが、分かる」の肯定的な回答が80%以上である。 「自分や友達の良いところ、頑張っていることが、分かる」の肯定的な回答が70%以上である。 「自分や友達の良いところ、頑張っていることが、分かる」の肯定的な回答が60%以上である。 「自分や友達の良いところ、頑張っていることが、分かる」の肯定的な回答が60%未満である。	4 3 2 1	児童アンケート						
		⑦児童・生徒が楽しく通える学校の実現	いじめ防止対策の推進	栄小いじめ防止基本方針に基づいた取組の徹底 「いじめ、いじわる、いやがらせ」を許さない学校づくりのために、アンケート調査を月1回実施し、いじめの早期発見に努め、学校全体で組織的に対応する。				「些細な兆候でも意識していじめの認知に努め、学校全体で組織的に解決できた」の肯定的な回答が80%以上である。 「些細な兆候でも意識していじめの認知に努め、学校全体で組織的に解決できた」の肯定的な回答が70%以上である。 「些細な兆候でも意識していじめの認知に努め、学校全体で組織的に解決できた」の肯定的な回答が60%以上である。 「些細な兆候でも意識していじめの認知に努め、学校全体で組織的に解決できた」の肯定的な回答が60%未満である。	4 3 2 1		教員アンケート	「学校は楽しい」の肯定的な回答が80%以上である。 「学校は楽しい」の肯定的な回答が70%以上である。 「学校は楽しい」の肯定的な回答が60%以上である。 「学校は楽しい」の肯定的な回答が60%未満である。	4 3 2 1		児童アンケート	
健やかな成長を支える教育環境の整備	児童理解の徹底			組織体制の構築と児童理解に基づいた指導 学校いじめ対策委員会・生活指導終礼(週1回)、学年会、校内委員会(各学年・月1回以上)、特別支援教育協議会(年2回)等を活用し、多角的多面的な立場からの視点で児童理解を深め、指導に生かしていく。	「校内で情報共有を図り、児童理解に基づく指導ができた」の肯定的な回答が80%以上である。 「校内で情報共有を図り、児童理解に基づく指導ができた」の肯定的な回答が70%以上である。 「校内で情報共有を図り、児童理解に基づく指導ができた」の肯定的な回答が60%以上である。 「校内で情報共有を図り、児童理解に基づく指導ができた」の肯定的な回答が60%未満である。	4 3 2 1	教員アンケート	「先生は、あなたのよいところを認めてくれていてと思う」の肯定的な回答が80%以上である。 「先生は、あなたのよいところを認めてくれていてと思う」の肯定的な回答が70%以上である。 「先生は、あなたのよいところを認めてくれていてと思う」の肯定的な回答が60%以上である。 「先生は、あなたのよいところを認めてくれていてと思う」の肯定的な回答が60%未満である。	4 3 2 1	児童アンケート						
				⑨OJTを中心とした校内研修体制の確立	校内研究の推進と計画的な学年会・校内研修会の実施	学年会・校内研修会の充実 定期的に学年会や校内研修会を設定・実施し、質の高い指導ができるようにする。若手育成を図るためにOJT体制を構築し、組織的な育成を図る。 校内研究の推進 「児童と教師のウェルビーイングの向上を目指して～一人一台端末の活用・モニタの効果的な活用を通して～」に基づき、研究・研修等をすすめていく。		「校内研究や校内研修会・学年会等を通して、自分の学びを深めたり、実践したりすることができた」の肯定的な回答が80%以上である。 「校内研究や校内研修会・学年会等を通して、自分の学びを深めたり、実践したりすることができた」の肯定的な回答が70%以上である。 「校内研究や校内研修会・学年会等を通して、自分の学びを深めたり、実践したりすることができた」の肯定的な回答が60%以上である。 「校内研究や校内研修会・学年会等を通して、自分の学びを深めたり、実践したりすることができた」の肯定的な回答が60%未満である。	4 3 2 1			教員アンケート		4 3 2 1		児童アンケート
		⑩保護者や地域住民の協力・参画	豊かな体験と学びの機会の設定			地域の教育資源や外部人材等の活用 英語、羽村学(郷土学習)、人間学(キャリア教育)をはじめ、各教科等の内容において、地域の教育資源や外部人材を活用することを通して、豊かな体験と学びの機会を設定する。		「地域の教育資源や外部人材を活用した豊かな体験と学びの機会を設定することができた」の肯定的な回答が80%以上である。 「地域の教育資源や外部人材を活用した豊かな体験と学びの機会を設定することができた」の肯定的な回答が70%以上である。 「地域の教育資源や外部人材を活用した豊かな体験と学びの機会を設定することができた」の肯定的な回答が60%以上である。 「地域の教育資源や外部人材を活用した豊かな体験と学びの機会を設定することができた」の肯定的な回答が60%未満である。	4 3 2 1		教員アンケート		「地域に愛着をもっている」の肯定的な回答が80%以上である。 「地域に愛着をもっている」の肯定的な回答が70%以上である。 「地域に愛着をもっている」の肯定的な回答が60%以上である。 「地域に愛着をもっている」の肯定的な回答が60%未満である。	4 3 2 1	児童アンケート	
						学校の特色		学校の特色や独自性のある取組	英語教育の充実				地域人材の活用 低学年から英語教育を地域英語講師を活用して英語教育を行い、コミュニケーション能力の素地又は基礎等を育てる。 短時間学習の活用 5、6年はモジュールを毎週金曜日の昼休み後の10分間、年35時間行い、英語教育の充実を図る。	「英語教育でコミュニケーション能力の素地又は基礎等の育成を図れた」の肯定的な回答が80%以上である。 「英語教育でコミュニケーション能力の素地又は基礎等の育成を図れた」の肯定的な回答が70%以上である。 「英語教育でコミュニケーション能力の素地又は基礎等の育成を図れた」の肯定的な回答が60%以上である。 「英語教育でコミュニケーション能力の素地又は基礎等の育成を図れた」の肯定的な回答が60%未満である。		